

希学園 第408回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第408回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年5月10日実施)	https://vimeo.com/1190673061/219db4b77c

1	(1) 6 0 6 1	(2) 7 5 9	(3) 5 1 4	(4) 3 3 8 1
	(5) 2 4 7 0 4	(6) 3 6 0 0	(7) 1 9 2 1	(8) 4 3 4 2
	(9) $\frac{41}{47}$	(10) ㊦ 4 (L)	(11) ㊧ 8 5 0 (mL)	(12) 2 6 (m)
	(13) 4 8	(14) 7 (人)	(15)完答	

2	(1) 2	(2) 9 9	(3) 6 1 個
---	-------	---------	-----------

3	(1) 2 1 0	(2) 7	(3) 5 通り
---	-----------	-------	----------

4	(1) 8 cm	(2) 2 cm	(3) 1 2 cm
---	----------	----------	------------

5	(1) 2	(2) 1 4	(3) 9
---	-------	---------	-------

(配点) 各4点×25

1

- (7) $2089 + \square = 4010$
 $\square = 4010 - 2089 = \underline{1921}$
- (8) $\square - 1471 = 2871$
 $\square = 2871 + 1471 = \underline{4342}$
- (10) $9 \text{ L } 4 \text{ dL} - \square \text{ L } \square \text{ mL} = 4 \text{ L } 550 \text{ mL}$
 $\square \text{ L } \square \text{ mL} = 9400 \text{ mL} - 4550 \text{ mL}$
 $= 4850 \text{ mL} = \underline{4 \text{ L } 850 \text{ mL}}$
- (11) $3 \text{ km } 16 \text{ m} - \square \text{ m} - 223 \text{ m} = 2 \text{ km } 767 \text{ m}$
 $3016 \text{ m} - \square \text{ m} = 2767 \text{ m} + 223 \text{ m} = 2990 \text{ m}$
 $\square \text{ m} = 3016 \text{ m} - 2990 \text{ m} = \underline{26 \text{ m}}$
- (12) $A + B = 144, B + C + D = 222, A + B + C + D = 318$
 $A = 318 - 222 = 96, B = 144 - 96 = \underline{48}$
- (13)

	姉○	姉×	合計	
兄○	㊦	㊧	13	左のように表にする。 $\text{㊧} = 21 - 15 = 6$ $\text{㊦} = 13 - 6 = 7$ よって、 <u>7</u> 人。
兄×		15	27	
合計	19	21	40	

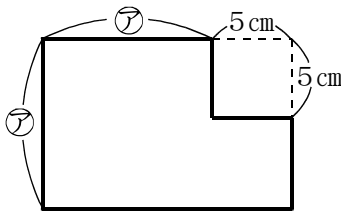
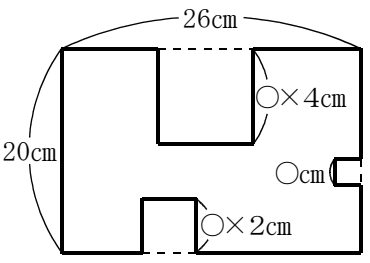
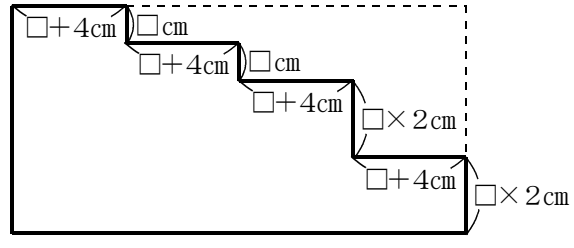
2

- (1) 1, 2, 3, 3, 2, 1の6個のくり返し。
 $50 \div 6 = 8$ (セット) あまり 2 (個)
 1, 2 → 2
- (2) 1セットの和は, $1 + 2 + 3 + 3 + 2 + 1 = 12$
 よって, $12 \times 8 + 1 + 2 = \underline{99}$
- (3) 1, 1が連続するのは, セットとセットの変わり目。
 1回目は, 1セット目の最後の数と2セット目の最初の数。
 10回目は, 10セット目の最後の数と11セット目の最初の数。
 よって, 最後の1は11セット目の1番目の数。
 $6 \times 10 + 1 = \underline{61}$ (個)

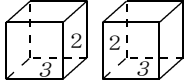
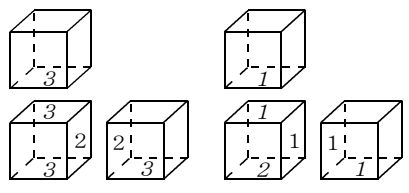
3

- (1) $16 \star 9 \rightarrow 16 \times 6 + 9 = 105, 105 \times 2 = \underline{210}$
- (2) $\text{㊦} \star 6 \rightarrow \text{㊦} \times 6 + 6 = \square, \square \times 2 = 96$ より,
 $\square = 96 \div 2 = 48, \text{㊦} \times 6 = 48 - 6 = 42$
 よって, $\text{㊦} = 42 \div 6 = \underline{7}$
- (3) $\text{㊧} \star \text{㊧} \rightarrow \text{㊧} \times 6 + \text{㊧} = \text{㊧} \times 7, \text{㊧} \times 7 \times 2 = \text{㊧} \times 14$
 $\text{㊧} = 1$ のとき, $1 \times 14 = 14 \times$
 $\text{㊧} = 2$ のとき, $2 \times 14 = 28 \times$
 $\text{㊧} = 3$ のとき, $3 \times 14 = 42 \text{ O}$
 $\text{㊧} = 4$ のとき, $4 \times 14 = 56 \text{ O}$
 $\text{㊧} = 5$ のとき, $5 \times 14 = 70 \text{ O}$
 $\text{㊧} = 6$ のとき, $6 \times 14 = 84 \text{ O}$
 $\text{㊧} = 7$ のとき, $7 \times 14 = 98 \text{ O}$
 $\text{㊧} = 8$ のとき, $8 \times 14 = 112 \times$ よって, 5通り。

4

- (1) 太線部分の長さは, もとの長方形の周りの長さと等しい。
 つまり, もとの長方形のたての長さ ㊦ と横の長さの合計は,
 $42 \div 2 = 21 \text{ (cm)} = \text{㊦} + \text{㊦} + 5 \text{ (cm)}$
 よって, ㊦ の長さは, $21 - 5 = 16, 16 \div 2 = \underline{8 \text{ (cm)}}$
- 
- (2) ㊧の長さを O cm とすると,
 ㊨ の長さは, $\text{O} \times 2 \text{ (cm)}$,
 ㊩ の長さは, $\text{O} \times 4 \text{ (cm)}$
 となる。もとの長方形の周りの長さは,
 $(20 + 26) \times 2 = 92 \text{ (cm)}$
 つまり, 3つの正方形を切り取ったことで, $120 - 92 = 28 \text{ (cm)}$ 長くなった。
 1つの正方形を切り取ると2辺分の長さが長くなる。
 $\text{O} \times 2 + \text{O} \times 2 \times 2 + \text{O} \times 4 \times 2 = \text{O} \times 14 = 28 \text{ (cm)}$
 よって, ㊧ の長さは, $\text{O} = 28 \div 14 = \underline{2 \text{ (cm)}}$
- 
- (3) ㊧の長さを $\square \text{ cm}$ とすると,
 ㊨ の長さは, $\square \times 2 \text{ (cm)}$,
 ㊩ の長さは, $\square + 4 \text{ (cm)}$
 となる。
 もとの長方形のたての長さは,
 $\square \times 2 + \square \times 2 \times 2 = \square \times 6 \text{ (cm)}$ より, 横の長さは,
 $\square \times 6 \times 2 = \square \times 12 \text{ (cm)}$ となる。
 $\square \times 12 = (\square + 4) \times 4 = \square \times 4 + 16$
 $\square \times 8 = 16 \rightarrow \square = 2 \text{ (cm)}$
 よって, もとの長方形のたての長さは, $2 \times 6 = \underline{12 \text{ (cm)}}$
- 

5

- (1) 6面に書かれた数の合計は,
 $1 + 1 + 2 + 2 + 3 + 3 = 12$
 $12 - 11 = 1$ より, 下の面の数は1。
 問題の図2より, 1と向かい合う面の数は2なので ㊦ は 2。
- (2) 8面に書かれた数の合計が最小になるのは見えない面に書かれた数が最大するとき。
 2つの立体はともに, 下の面とくっついている面の2面が見えないので, 見えない面の数は右の図のようにすれば良い。
 見えない面の数の合計は, $2 + 3 + 2 + 3 = 10$
 よって, 8面の数の合計は, $12 \times 2 - 10 = \underline{14}$
- 
- (3) 12面に書かれた数の合計が最小になるときと最大になるときの見えない面の数は右の図のようになる。
 最小 $\rightarrow 3 \times 4 + 2 \times 2 = 16$
 最大 $\rightarrow 1 \times 5 + 2 = 7$
 見えない面の数のちがいが見える面の数のちがいと等しくなるので, $16 - 7 = \underline{9}$
- 

配点 ; 各4点 × 2 = 5